

ASAZOOクイズラリー

レベル. 2

詳しく動物を知ろう！

もんだい どうぶつ まえ かんばん お
問題にでてくる動物の前に看板が置いてあります。

よ こた せいがい
しっかり読んで、クイズに答えてね。正解に○をしてください。

問1 アヌビスヒヒのおとなとこどもでは肌の色が違います。
ただ正しいものはどれ？

くろ おとなは黒っぽく、
しろ こどもは白っぽい

はだ いろ ちが
おとなは白っぽく、
こどもは黒っぽい

問2 キリンの雄同士は雌をめぐってどんな戦いをする？

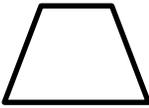
はげ 激しくかみつきあう

なが くび あたま
長い首と頭をハンマーのように
あいて からだ
相手の体にぶつける

問3 ダイアナモンキーの額の模様はどれ？

だいけい 台形

みかづきがた 三日月形



問4 タヌキの英語での名前の意味は？

えいご なまえ いみ
アライグマのようなイヌ

きのぼ
木登りするイヌ

問5 ニホンカモシカは広島県に…

せいそく 生息していない

かず すく せいそく
数は少ないが生息している

こた どうぶつえん でぐち えんぴつ ひと かえ
答えは動物園の出口にあるよ。鉛筆をかりた人はそこで返してね。

こた かいせつ
答えと解説

※↓の図は各動物舎に設置している看板です。

答1 おとなは黒っぽい、こどもは白っぽい

アヌビスヒヒのこどもは生まれてしばらくは顔の色が白く、おとなと明らかに違います。この時期はいたずら(ルール違反)をしても許され、群れの中で「まだこどもです」という証です。この期間に群れの中のルールを学習し、顔や体毛の色がおとなと同じになると怒られなくなります。

霊長目(サル目) オナガザル科
アヌビスヒヒ

Anubis Baboon
Papio anubis

アフリカのナイジェリアからケニアにかけての草原にすむ。群で生活し地上でくらす時間が多い。オスは体重40kgにもなり、長く鋭い犬歯があり、ヒョウを倒すこともある。4~5歳で子どもを産む。生まれた子の毛は黒く肌は白く、約半年で親と同じ色になる。

答2 長い首や頭をハンマーのように相手の体にぶつける

頭をハンマーのように振って相手の体にぶつけることを「ネッキング」と呼びます。雄は若いころからネッキングを繰り返します。このころに角の表面がごつごつと発達していきます。そのため、おとなの雄は頭をみるとすぐにわかります。

偶蹄目(ウシ目) キリン科

キリン

Giraffe

Giraffa camelopardalis

おとなのオス同士は、メスが発情すると長い首と頭をハンマーのように相手の体に激しくたたきつけて戦う。妊娠期間は450日前後で1頭の子を産む。子は生まれたときには高さが1.8m、体重が80kgもある。出産後すぐに立ち上がり、数時間後には走ることができる。

答3 三日月形

額の三日月型の模様を含め、体全体もくっきりとした模様で美しいサルです。このことで生息地のアフリカではハンターの目につきやすく、狩猟によって生息数を減らしています。また、生息地の森林伐採によっても減少しています。

霊長目(サル目) オナガザル科

ダイアナモンキー

Diana Monkey

Cercopithecus diana

西アフリカの熱帯多雨林にすむ。木の上で生活し地面にはめったにおりない。食べ物は果実、昆虫、木の葉などである。名前のダイアナ(Diana)はローマ神話の月の女神の名で、額(ひたい)の白い三日月形の毛から名づけられた。

答4 アライグマのようなイヌ

タヌキの生息地は日本を含む東アジアで英語圏にはもともとは生息していません。タヌキの英名「Raccoon Dog」はRaccoon=アライグマ(のような) Dog=イヌという2つの動物を合わせた名前です。

食肉目(ネコ目) イヌ科

ホンドタヌキ

Japanese Raccoon Dog

Nyctereutes procyonoides viverrinus

本州、四国、九州にすむ。果物、昆虫、ネズミなどを食べる雑食性。ペアか家族群で生活し、春に繁殖する。子育てには雄も参加し、子は秋ごろ親離れする。英名は「アライグマのようなイヌ」の意味。日本には、ホンドタヌキのほか北海道にすむエゾタヌキの2亜種がいる。

答5 生息していない

ニホンカモシカは日本固有の動物で、かつては本州、四国、九州の全域に生息していたと考えられています。しかし、中国山地では過去に山林が大規模に伐採された経緯があり、落葉広葉樹林を生息地として好むニホンカモシカはこのときからいなくなったといわれています。

偶蹄目(ウシ目) ウシ科

ニホンカモシカ

Japanese Serow

Capricornis crispus

日本にすむ動物で本州、四国、九州の山岳地帯にすむが、広島などの中国地方にはいない。木の葉、芽、実などを好んで食べる。日本の貴重な野生動物として、特別天然記念物に指定されている。ウシ科に分類され、角が生え変わらないなどの特徴をもっている。ウシ科の中でもヤギに近い仲間。交尾期や母子以外は単独でくらす。